学校番号	3016

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２	年次	３
使用教科書	古典Ａ大鏡源氏物語諸家の文章（第一学習社）						
副教材等	体系古典文法（数研出版）・新明説漢文（尚文出版）・日本文学史必携（第一学習社）・カラー版新国語便覧（第一学習社）・核心古文単語（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ

・古典を読むほんとうの喜びを味わいましょう。
　１　比較的長いテキストに向き合うことによって、表現の特質や内容の深さを読み取る力を養いましょう。
　２　作品全体が伝えてよこすメッセージをキャッチしましょう。時代、文化、思想、書き手の置かれていた状況にも思いを致しましょう。
　３　意見を交わすことで読みを深めましょう。自他の読みを比べることを通じて、読むことの醍醐味を味わいましょう。
・基本的な知識についても、その格闘の中で自然な形で習得できるでしょう。
・何のために古典を学んでいるか、わかる瞬間が来ます。〈そのとき〉を目指して進みましょう。

２　学習の到達目標

・古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察できる。
・古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすることができる。
・古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解することができる。
・伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、我が国の伝統と文化について理解を深めることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	歴史物語を読む	教材: 「大鏡」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察及び記述の点検
後期	物語を読む	教材: 「源氏物語」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えている。 d:文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、このように書いたのかなどに迫っている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察及び記述の点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。